

平群

Heguri

≡ 議会だより 4月、5月臨時会

No.256

平成28年6月1日
発行：奈良県平群町議会

第3・4・5回臨時会

就任のあいさつ

議長 山田仁樹 副議長 井戸太郎 2

第3回臨時会「質疑あれこれ」 3～4

第4回臨時会「質疑あれこれ」 5

議会構成／議長・副議長選挙結果 6

第5回臨時会「質疑あれこれ」 6



みんなで楽しく健康長寿（長寿会連合会総会・フォークダンスクラブ）

就任あいさつ



議長
山田 仁樹

平群の若葉青葉をわたる風も快く感じられます今日この頃、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る5月10日に臨時会が開催され、議会議長の要職に就任させて頂く事になりました。

私自身、その責任の重大さを痛感すると共に、身にあまる光栄にますます身の引き締まるおもいです。さて、議会を取り巻く昨今の情勢として議員の資質向上は勿論、住民の方々に、いかに議会・行政に興味を持って頂けるようにするの

特色・独自性を持つ魅力ある町に

平成28年第5回臨時会が5月10日開催され、議会の役員及び各委員会の選任がおこなわれました。

議長には山田仁樹議員が、副議長には井戸太郎議員がそれぞれ選挙で選ばれました。(議会構成、投票結果は6ページ)

か。どのようにして住民の声をより多く反映していくのか等、議会の使命、責務について見直されている一方、地方の町村では、人口減や超高齢化に伴う行政サービスの低下や地域コミュニティの希薄化等が社会問題となっています。

そのような厳しい現在の社会情勢の中、10年、20年先の町の将来を考えたとき、これからの平群町は他の自治体にない、特色・独自性を持つ町づくりを行うことも課題、目標であると考えます。

住民皆様の声を原点に、若い世代にとっても魅力のある町、住民が誇れるまちとなるよう粉骨砕身、力いこばい取り組んでまいります。

皆様方のご理解と、ご指導お力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

政策の種を植え、育て、花や実を創り出そう



副議長
井戸 太郎

爽やかな風が平群を包む季節になり、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る5月10日の臨時会におきまして、副議長に就任させていただきました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しております。

議会は、行政のチェック機関であります。同時に、政策の提案もできます。

平群が新しい時代の変化に対応できるよう、より多くの政策を提案していく必要があると考えます。山田議長のもと、全力で取り組みたいと思います。そのためには、先進地を詳しく研究し、平群の地域性にあつたものは取り入れ、また、それ以上のものを新しい発想とともに生み出していく、そのような土壌を作っていかなければならないと考えております。

また、平群は財政難かつ人員不足の状況が続いています。ほしい花や実を簡単に買つことができません。自ら政策の種を植え、育て、花や実を創り出すことが必要です。その端を担えるよう、議会もより一層成長していかなければならないと思います。

一生懸命頑張りたいと思いますので、皆様方のご協力とご指導をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

第3・4・5回臨時会 こんなことが決まりました

平成28年の第3回臨時会が4月12日に、第4回臨時会が4月20日に、第5回臨時会が5月10日にそれぞれ開催されました。各臨時会に提出された議案の審議内容とその結果を紹介します。

第3回臨時会 議決結果賛否一覧 ○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	山本隆史	城内敏之	井戸太郎	森田勝	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	山田仁樹	高幣幸生	窪和子	馬本隆夫	下中一郎
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(平群町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	専決処分の承認を求めることについて(平群町税条例等の一部を改正する条例について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度平群町一般会計補正予算(第6号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度平群町一般会計補正予算について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町放課後児童健全育成事業施設条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

質疑あれこれ

第3回臨時会に上程された議案及び審議を紹介します。

専決処分

町税条例等の一部を改正する条例

法律の改正に合わせた規定整備と、再生可能エネルギー発電設備に係る固定資産税の課税標準の特例措置を定めるものです。

主な質疑

質問

太陽光発電設備の実績はどうなっているのか。
風力、水力、地熱、バイオマスの対応施設があるのか。
償却資産の減額対象設備があれば町としては収入が減るが、補填はどういう形になるのか。

答弁

太陽光の実績は、平成27年度課税分で新規5件、税額32万3800円。28年度課税分で継続5件と新規4件で9件、27年度中に300kwの設備を備えた施設が1件設置されたのが大きく、税額138万3600円。

風力、水力、地熱、バイオマス発電の施設はない。

税の減額は基準財政収入額が減となるため、地方交付税で措置される。

質問

新築の個人住宅には屋根そのものが太陽光パネルの家も増えてきた。償却資産なので課税対象外だと思うが、その基準はどうなっているのか。

答弁

屋根と一体の太陽光パネルは家として評価するが、架台に乗せて屋根に設置するものや家屋以外に設置するものは、発電出力10kw以上のものが償却資産の対象になる。

専決処分

平成27年度一般会計補正予算(第6号)

子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業の補助採択に伴い、不登校児への学習支

援、貧困児童対象に係るニーズ調査等の予算措置を行うつもりです。

主な質疑

質問

地域子どもの未来応援交付金973万6千円を予算措置した内容の説明を。

答弁

国の新規補助事業を活用し、より一層不登校対策の充実に努めていく。また、生活支援・学習支援の整備計画を立てるための実態調査を行い、関係機関の情報共有と支援方策の検討をする協議会を設置し、さまざまな問題を抱える子どもの家庭を支える体制づくりに取り組んでいく。

質問

この事業は単年度事業なのか。

答弁

国は28年度以降も予算措置をしており、子ども・子育てのために活用していきたい。

質問

28年度ではなく、27年度補正で手を挙げたのはなぜか。また、県下で補助採択された市町村はどこか。

次ページへ続く

答弁

不登校対策に力を入れてきた実績があったので、27年度補正で手を挙げる事ができた。補助採択は平群町のみ。

質問

補助採択されたとはいえ、一般財源で426万8千円を使うことになるが、今までも不登校対策事業を実施してきたので、町の持ち出しは変わらないと考えてよいのか。

答弁

不登校対策の必要経費は、これまでも一般財源で支出してきた。補助採択がなければ、一般財源の持ち出しはもう少し多くなっていた。

質問

不登校の実態は。

答弁

27年度は、小学生3人、中学生5人、高校生1人の計9人の対応をしている。

質問

不登校対策の対象に「貧困が引き起こす」とあるが、いじめや病気等で不登校になった子どもも、子育て支援センターで援助するの。

答弁

9人の不登校の要因は貧困ではない。貧困については、実態調査をし、支援体制を協議会で検討していく。

子育て支援センターでは、いろんな子どもや保護者からの相談に対応してきた。支援センターへ毎日来るようになり、学校へ復帰できるようになった子どももあり、不登校児への支援を重点的にやっていきたい。

質問

子育て支援センターから旧西小へ行く場所が遠くなる。友達と離れるイメージにならないか。

答弁

不登校の原因はいろいろあるが、学校とは別の場所だったなら不登校の子どもたちの中で楽しく過ごしている状況がある。主に子育て支援センターは中学生、旧西小は小学生であるが、旧西小には広い体育館やグラウンドがあり、中学生も必要に応じて体育館やグラウンドを利用し、うまく学習支援に活用している。

質問

貧困だけでなく、子どもの未来応援に対するニーズも含めた調査をされると思うが、いつまでにやるの。

答弁

夏までに実態を把握したい。

専決処分

平成28年度平群町一般会計予算

投資的経費や新規事業といった政策的経費を削除し、義務的経費や法令の定めがある経費を中心とした骨格予算で、総額59億5千万円。

主な質疑

質問

選択肢に暫定予算もあつたが、骨格予算にした理由は。

答弁

暫定予算は、本予算成立までのつなぎ予算なので、一定の期間を定めて必要な経費を計上することになり、切れ目のない行政をしていくのに支障が出ると考えた。骨格予算は暫定予算と同じく義務的経費、必要経費、住民生活に影響が出ない経費を積み上げたものだが、通年的な予算計上ができるため。

質問

仮置き焼却灰撤去事業、消防水利弱点地域解消事業、年次計画で進めてきた事業をなぜ抜いたのか。

答弁

骨格予算は普通建設事業的なものは削除するのが通

例。重要性・必要性・継続性は十分理解しているが、骨格予算の性格上削除した。仮置き焼却灰の撤去は町の義務。他の事業もまちづくりに必要なもの。次の臨時議会に補正予算を計上して可決いただき、遅滞なく進めていきたい。

質問

町予算で駅周辺整備事業6億7300万円は、組合にとつては15億2600万円の事業。1年間で執行できるのか。

答弁

28年度で全て執行するのは厳しい状況である。移転の関係は期間も要るので、繰り越しも必要と考えている。

質問

繰り越しは1年限りのため、29年度で執行できなかった補助金は返還せねばならないと思う。現人事体制で高額な予算執行ができるのか。できるところから部分的に工事をしても支障がない方法があるのでは。

答弁

町職員の役割や、交渉と設計業務のポリシーの関係もあり、現体制でやりきる覚悟で進めたい。工事は出来るところから発注していきたい。

質問

予算措置がない状況で

は、社会資本整備総合交付金の交付申請ができない。申請期限はいつなのか。

答弁

内示が来てから1カ月が目安になるので、4月末には申請できるように万全を期して準備をしている。

放課後児童健全育成事業施設条例の一部を改正する条例

1カ月の学童保育料を入所児童1人目4千円から3千円、2人目3千円から2千円、3人目2千円から無料に条例の一部を改正するものです。

主な質疑

質問

収入減はいくらか。

答弁

約146万円。

質問

保護者負担金が同等か低い近隣自治体はあるのか。

答弁

サービス内容が異なるので一概には言えないが、上牧町・王寺町・河合町が3千円で1番安い設定になっている。

第4回・5回臨時会 こんなことが決まりました

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	山本隆史	城内敏之	井戸太郎	森田勝	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	山田仁樹	高幣幸生	窪和子	馬本隆夫	下中一郎
議町長提出案	(第4回臨時会) 平成28年度平群町一般会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	(第5回臨時会) 平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は採決に加わりません

質疑あれこれ

第4回臨時会に上程された
議案及び質疑を紹介します。

平成28年度一般会計補正予算(第1号)

補正総額は14億6748万2千円。骨格予算である当初予算に、重点的に町づくりに取り組むために必要な政策的経費の計上を行うものです。

また、臨時福祉給付金事業の実施、少子化対策重点推進交付金事業の補助採択に伴う予算措置を行うものです。

主な質疑

質問 毎年決算で2億円の不用額が出ている。予算書をつくり直す中で無駄を省く努力をどのようににされたのか。

答弁

10月からの予算編成に当たり、編成方針で必要ないものは計上しないとして精査をしながら予算措置をしたので、結果としてこれが今の平群町の予算と考えている。執行段階で無駄を省く努力をしていく。

質問

骨格予算と補正予算を足すと74億1748万2千円。3月28日に町が出した予算73億5500万円に約6200万円を追加することになる。臨時福祉給付金事業5664万1千円と地域少子化対策重点推進交付金事業274万3千円以外に動いた金額の説明を。

答弁

コミュニティバス推進事業費で委託契約が課税対象となり240万円の増額、駅周辺整備事業の補助金の内示額が多く100万円の増額、太陽光パネルを5施設に設置する費用を実施設計レベルで金額を積算し、404万円の増額、補助採

択に伴い27年度補正予算で措置した子育て支援センターの賃金で450万円の減額。

質問

臨時福祉給付金事業と障害・遺族基礎年金受給者への臨時福祉給付金の申請時期は。

答弁

9月1日から受付する。

質問

この2つの給付金は28年1月1日に住民票が平群町にある方が対象。前住所で申請手続をすれば支給されることが広報等に書かれていない。丁寧な説明が必要では。

答弁

広報、ホームページで詳しく案内していきたい。

質問

地域少子化対策重点推進交付金事業274万3千円は、恋まち・育まち・へぐりっちの取り組みを発展させるものである。今年度の具体的な事業内容は。

答弁

結婚応援編として若者の結婚に関する意識を高めるために、町内農業者や商工業者の独身者を中心に参加を促し、恋愛に対する前向きな姿勢を醸成するため、異性への接し方や恋



愛に関する考え方についての講座やカウンセリングを行い、恋愛スキルアップを図る。また、カウンセリング後に悩みや困りごとについて講師からアドバイスをいただく予定で、詳細は5月中に決定していきたい。

質問

コミュニティバス推進事業費で消費税相当分240万円が増額となった説明を。

答弁

コミュニティ事業者と協議し、消費税の対象事業となったため。

質問

駅周辺整備事業で100万円増額となった説明を。

答弁

事業費3億4500万円の2分の1が国庫補助となり、1億7250万円の歳入を見込んでいたが、社会資本整備総合交付金の内示額が四捨五入の関係で50万円アップして1億7300万円となったため、3億4600万円の補助対象事業として予算計上した。

議会の構成

議長 山田 仁 樹				副議長 井 戸 太 郎			
名 称	委員長	副委員長	委 員				
常任委員会	総務建設委員会	下 中 一 郎	窪 和 子	城 内 敏 之	山 口 昌 亮	山 田 仁 樹	高 幣 幸 生
	文教厚生委員会	森 田 勝	植 田 い ず み	山 本 隆 史	井 戸 太 郎	稲 月 敏 子	馬 本 隆 夫
特別委員会	下水道事業特別委員会	山 本 隆 史	下 中 一 郎	井 戸 太 郎	山 田 仁 樹	窪 和 子	馬 本 隆 夫
	駅周辺整備事業特別委員会	窪 和 子	稲 月 敏 子	城 内 敏 之	井 戸 太 郎	山 口 昌 亮	山 田 仁 樹
	財政検討特別委員会	馬 本 隆 夫	高 幣 幸 生	森 田 勝	稲 月 敏 子	植 田 い ず み	山 田 仁 樹
	議会改革特別委員会	高 幣 幸 生	城 内 敏 之	山 本 隆 史	井 戸 太 郎	稲 月 敏 子	下 中 一 郎
	公共交通対策特別委員会	植 田 い ず み	森 田 勝	城 内 敏 之	山 口 昌 亮	窪 和 子	馬 本 隆 夫
議会運営委員会		山 口 昌 亮	山 本 隆 史	森 田 勝	植 田 い ず み	高 幣 幸 生	下 中 一 郎
議会だより編集委員会		山 口 昌 亮	山 本 隆 史	森 田 勝	植 田 い ず み	高 幣 幸 生	下 中 一 郎

質疑あれこれ

第5回臨時会に上程された
議案及び質疑を紹介します。

国民健康保険税条例の 一部を改正する条例

地方税法施行令の改正に伴う
措置で、①課税限度額の引き上
げ②課税軽減の判定所得の基準
額の引き上げを行うもの。

①医療分52万円→54万円
支援金分17万円→19万円

議長選挙投票結果

投票総数 12 票
有効投票 12 票
山田仁樹 6 票
下中一郎 6 票

得票が同数のためくじ引き
当選 山田仁樹

副議長選挙投票結果

投票総数 12 票
有効投票 12 票
山本隆史 6 票
井戸太郎 6 票

得票が同数のためくじ引き
当選 井戸太郎

主な質疑

質問 5割・2割の軽減拡充
による税収への影響額と、世帯
数の変化は。

答弁 昨年7月のデータで試
算すると、税収への影響は5割
軽減で37万3千円、2割軽減で
5万円の減収となる。
世帯数は、5割軽減が現行の
329世帯から341世帯に、
2割軽減が464世帯から47
0世帯に増加する。

②5割軽減対象世帯の所得Ⅱ
33万円+被保険者数×26万円↓
33万円+被保険者数×26万5千
円
2割軽減対象世帯の所得Ⅱ33
万円+被保険者数×47万円↓33
万円+被保険者数×48万円

編集後記

5月10日の臨時会で編
集委員の変更がありまし
た。

今号は、3月の定例会
で新年度一般会計予算が
成立しなかったため、4
月に開催された2回の臨
時会の審議内容と結果も
掲載することになりました。

そのため、好評を得て
いた「町の話題」は割愛
させていただきました。

ひきつづき、議会の活
動が住民のみなさんによ
くわかる紙面になるよう
努力・工夫していきます。

山口 記



山田新議長と新編集委員